

事務事業名	《H25新規》有害鳥獣被害防止対策支援事業(特措法)		所属部局	農林商工部	単位番号	2013- 900090				
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 にぎわいと活力あふれる都市づくり		所属課室	みどり自然課	課長名	杉山 啓子				
			所属担当	森と自然の保全担当	担当者名	田中 剛				
基本政策	基本計画体系	II	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	07	農林水産業の振興	01	01	一般	06	01	03	030	11
施策	12	生産を支える基盤の整備充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~ 年度)		法令根拠	鳥獣被害防止特措法 鳥獣被害防止総合対策交付金 実施要綱 鳥獣被害防止総合対策事業実施要領 南アルプス市鳥獣被害防止計画						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・有害鳥獣被害防止対策支援事業のうち、鳥獣被害防止特措法に基づく交付金事業についてシートを分けて事業化した。 ・鳥獣による被害の深刻化・広域化に対応し、地域ぐるみの被害防止・防除対策を支援するための鳥獣被害防止総合対策交付金事業。 ・市町村は、鳥獣被害防止計画を策定し、協議会を主体に捕獲、侵入防止、環境整備を組合わせた対策を総合的、効果的に実施する。		事業費の主な内訳(25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 補助金 2,426 計 4,830							

1 現状把握(DO)

① 事務事業の目的と目標

① 活動	被害状況把握調査及び対策啓発パンフレット作成 放棄果樹対策啓発イベント 耕作放棄地の雑木等刈払い事業
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・市民 農林業従事者 ・鳥獣(主にニホンザル・イノシシ・ニホンジカ) ・果樹・農作物 森林
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	・農林業被害が減少する ・家庭菜園や庭の花木の被害が減少する ・市民や農業者から得る鳥獣の目撃や出没情報が減少し、林縁部の出没ラインが後退する。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・市民や農林業者の生産意欲や営農意欲が高まる。 ・中山間地の耕作放棄地の減少に歯止めがかかる。 ・農林業の収益が向上する。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 協議会設置数	ヶ所
	イ 地域主体で対策をすすめている集落数	ヶ所
	ウ 事業に参加した人数	人
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 捕獲頭数(サル イノシシ シカ)	頭
	イ	
	ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 農林業被害額	円
	イ 農林業被害面積	ha
	ウ 出没ラインの後退(出没地図)	m
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 生産農業所得額(山梨県農林水産統計年報)	円
	イ 農業者数	人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円		300					
		県支出金	千円			1,936	200			
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円		300	468	200			
		事業費計(A)	千円	0	600	2,404	400	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人								
	延べ業務時間	時間								
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)+(B)	千円	0	600	2,404	400	0	0	0	
活動指標	ア	ヶ所								
	イ	ヶ所								
	ウ	人								
対象指標	ア	頭								
	イ									
	ウ									
成果指標	ア	円								
	イ	ha								
	ウ	m								
上位成果指標	ア	円								
	イ	人								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	鳥獣による被害が深刻化しているため、平成20年度より特措法による交付金事業として開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	鳥獣の個体数の増加等や生息分布の広域化で農作物や生活被害が人の居住地まで及ぶようになっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	大規模電気柵の設置。捕獲檻の購入。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	捕獲檻の購入。ニホンザルへ発信機を装着して行動圏の調査を開始した。野生動物被害対策マニュアルを作成した。被害防除のため耕作放棄地の整備。

事務事業名	<H25新規>有害鳥獣被害防止対策支援事業(特措法)	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	----------------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 急増する野生動物の被害等を減少させるためなので、目的に合致している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 今後の被害対策の環境づくりを整備するためなので、市で行なう必要性が高い。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 被害防除の観点から維持・継続は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 ニホンザル等の行動が把握できれば、事前に防除等の対策が可能になり成果の向上に繋がる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 野生鳥獣による被害が広がる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 野生鳥獣による被害が広がる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 ニホンザル等の行動圏調査の体制整備は終了したので、その分の事業費を削減することは可能である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 地域住民の要望に対して公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	計画的な事業の執行により、次のステップの事業を展開するため事業費を削減することができる。 野生動物に対する被害対策事業は、地域の実情に合わせて、地域ぐるみですすめていくことが求められおり、見直しや検討が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ⑥																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑨																					